

防災拠点が待望の完成



上 一関の東部地域の消防防災拠点となる東消防署
右 関係者がテープカットを行い、落成を祝いました



老朽化した一関東消防署の移転新築が終了し、2月15日、千厩町千厩の現地で落成式が行われました。

これまでの一関東消防署は、昭和47年に現在の一関市消防本部の前身である両磐地区消防組合千厩消防署として建設されたもの。これまで旧東磐井地域の防災拠点施設として位置付けられていました。しかし、38年が経過し、老朽化し

練などに対応するため訓練施設なども整備した。今後より一層住民が安心安全な暮らしを送ることが出来る施設の整備に努めたい」と式辞を述べました。

敷地面積は、約1万5千8百平方メートルのうち、平場部分約8千平方メートル。総事業費が約3億5千258万円。鉄筋コンクリート造り平屋建ての庁舎と主塔、副塔、補助塔からなる救助訓練施設で構成され、飛行場外離着陸場も整備しました。

庁舎は、出動体制の短縮のため、出動動線に配慮した部屋の配置。仮眠室を個室化するなど24時間体制に配慮した構造となっています。

ていたため昨年7月から新庁舎が建設されていたものです。落成式には、消防団関係者、近隣市町関係者など110人が参列。関係者がテープカットで完成を祝いました。

式で勝部市長は「防災施設の整備や地域防災力の強化は、特に重要ととらえている。整備した消防署庁舎は大規模災害にも対応できる高い耐震性とし、消防職員、消防団員の訓

ご当地ナンバー
平泉ナンバーの実現を

自動車のご当地ナンバー「平泉」の導入を目指す、「平泉ナンバーを実現させる会」の設立総会と決起大会が1月28日、東山地域交流センターで行われました。

ご当地ナンバーは、国土交通省が自動車のナンバープレートに表示する地名について地域振興や観光振興の観点から対象市町村の区域を限定し、独自の地名を定めることを可能にした制度です。

設立総会は、当市、奥州市、



平泉ナンバーの実現に向け活動を確認した決起大会

金ケ崎町、平泉町、藤沢町の5市町と商工、観光関連団体の代表が出席し行われました。

発起人を代表して宇部貞宏「一関商工会議所会頭がこの活動が平泉の文化遺産の世界遺産登録実現の大きな力となり、この地域の素晴らしい価値を内外に情報発信できると確信する」とあいさつ。同会を設立することを決定し、会長に宇部さんを選出しました。

引き続き行われた決起大会には、構成市町の住民など約350人が出席し、地域が一体となった運動を強力に進める決議を採択し、参加者全員で「頑張ろう」を三唱しました。

同会では、今後、世界遺産登録と併せ世界遺産の名を冠した全国初となるご当地ナンバー「平泉」の実現に向け、広報宣伝活動や国土交通省などへの要望活動を精力的に行う予定です。



自慢の味を好きなだけ

餅
のイベント
続々と

全国の大食漢集まれ!

もちくらべバイキング

第1回もちくらべバイキング(道の駅厳美渓主催)は2月6日、道の駅厳美渓で催され、来場者は市内でもちを提供する4店舗の自慢の味を食べ比べました。

世帯の一、三彩館ふじせい、古曲田屋、道の駅厳美渓があるこごまなど伝統的な味付けからチョコレート、ばっけみそなど新感覚の味など16種類を提供。もちは小さめで、多くの種類が味わえるように配

全国わんこもち大会

第4回全国わんこもち大会は2月6日、新鮮館おもちで行われました。2人1組でエントリし、5分間で何個の餅を食べられるか競う同大会。16チーム計32人による熱戦が繰り広げられました。

選手たちは大きな声援を受けながら、一斉にあんこ、しょうゆ、ずんだの3種類の餅に食らいつき、制限時間いっぱい食べ進めていきました。平泉町の浅利絵里さん(23)

慮されました。

午前11時にスタートすると、120席はたちまち満席に。家族や友人4人で訪れた千葉佳代子さん(45)「平泉町は「たらこマヨネーズが斬新でおいしかった。全種類食べるつもり」と味わっていました。最終的に約330人が訪れました。

同道の駅を運営する農事組合法人美の郷の菅原利彦代表理事は「気軽に食べてもらうことで餅文化の普及になればと企画した。恒例行事にした」と手応えを語りました。

は、以前の同僚と共に初参戦。「思っていたより飲み込めなかった」と苦戦しながらも、7杯を完食しました。

岩手名物のわんこそばを餅に代えたユニークな方法で、一関の餅文化を全国へ発信する同大会。主催する未来塾の山平功二委員長は「全国放送でも取り上げられ、周知されてきた。規模を大きくしてこれからも続けていきたい」と、今後の取り組みを語りました。

83杯を食べた菊池宗辰さん・竹田宏国さん(一関)ペアが大会を制しました。